

感性の生まれ いづるところ



Ushijima
Koutarou

U
rakawa
Taishi



牛島光太郎

平岡昌也

古賀義浩

ヒロム・モリネッティ

浦川大志

2017 2.4(土) ~ 2.26(日)
九州芸文館 10:00-17:00
※月曜休館

入場無料

主催：九州芸文館芸術文化交流拠点性発揮実行委員会

(福岡県、筑後市、九州芸文館、筑後市美術協会、筑後市観光協会)

助成：一般財団法人自治体国際化協会

本展キュレーター：関岡絵梨花、三満田巧、長尾萌佳 (福岡県文化振興課学芸員)

コーディネーター：宮本初音 (ART BASE 88)

現場統括：竹下和輝 (OFFICE POCO.FUKU)

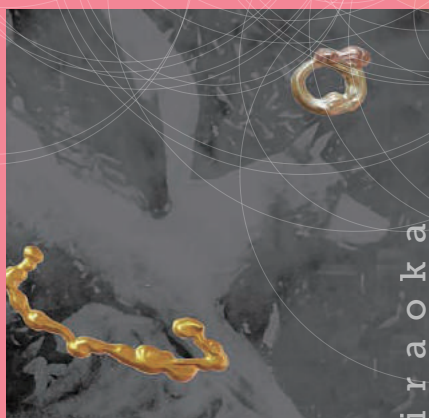
広報デザイン：クルール

お問い合わせ：九州芸文館 〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131

TEL 0942-52-6435 <http://www.kyushu-geibun.jp>



Hiromu
Moulinette



Hiraoka
Masaya



Kogachihiro
Yoshinori

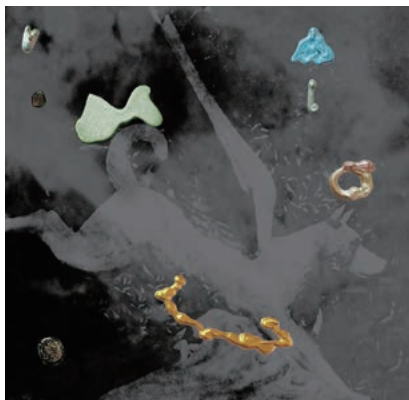




牛島光太郎『届かなかった光の範囲』2016年
廃校になった旧笠原小学校体育館での展示風景 © 富永聖紀子

牛島光太郎 Ushijima Koutarou

1978年福岡県八女市生/八女市在住。美術家。2003年成安造形大学彫刻クラス研究生修了。関西で活動後、2007年ドイツでの滞在制作を機に八女に拠点を移す。何気ない物から言葉を紡ぎ、物の価値や人々の記憶にまなざしを向けるインスタレーション作品を手がけている。2010年『intentional accident / 意図的な偶然』(三菱地所アルティウム / 福岡)、2014年『イマジネーション・スーパーハイクウェイ』(京都芸術センター / 京都) など個展・グループ展多数。ドイツ、台湾、中国など海外でも滞在制作を行っており、關渡美術館 (台北・台湾) に作品収蔵。
<http://www.ushijimakoutarou.com>



平岡昌也『うんう (雲雨) 筑後』(イメージ) 2016年

平岡昌也 Hiraoka Masaya

1980年福岡県筑後市生/沖繩県西原町在住。ベインター。2003年九州産業大学芸術学部美術学科絵画コース卒業。2003~2005年共同アトリエ・3号倉庫の2期メンバーとして活動、故・風倉匠氏 (ネオ・ダダ) の薫陶を受ける。2002年より、筑後での幼少期に魅了された雨の絶対的な美しさをテーマにした絵画作品『うんう (雲雨)』をつくり続けている。2007年ベルギー、アメリカにて滞在制作。2009年『21世紀の作家ー福岡bis』(福岡市美術館) 出品。2010年沖繩県移住。2012年沖繩市に「ARCADE-ART SPACES & STUDIOS」共同設立 (主宰)。2016年『マブニピースプロジェクト沖繩』『2016イチハナリアートプロジェクト+3』参加。
<http://www.hiraokamasaya.com>



関連イベント

〈オープニングイベント〉

トーク&公開制作・パフォーマンス

2月4日 (土) 14:00-16:00
会場: 教室工房1・2ほか (参加無料・申込不要)
5人の美術家が一堂に会し、各自の作品についてトークしたのち、公開制作やパフォーマンスを行います。「感性の生まれいづる」瞬間をお見逃しなく!

〈ワークショップ〉

からくり人形をつくろう!

2月26日 (日) 13:30-15:30
講師: ヒロム・モリネッティ
会場: 教室工房6 定員: 10名
対象: 小学校高学年~大人
(小学生は保護者同伴)
材料費: 2,000円
申込方法: お電話またはホームページ申込フォームにてお申込ください。(先着順)

*作品写真は参考作品です。実際の展示作品とは異なります。



ヒロム・モリネッティ Hiromu Moulinette

京都府京都市生/福岡県八女市在住。極細美術工芸家。学生時代をアメリカで過ごす。からくり人形師として活動するかたわら、ロードレース (自転車競技) のレビューや竹を使用した自転車フレームを制作するなど、その活動は多岐にわたる。からくり人形は宮内庁にも納めるほか、サイズ1mmにも満たない極小の工芸品 (人形や動物など) を国内外で発表。1999年には、極小のティディベアを制作、「世界一小さいティディベア」としてギネス記録を保持。現在は郷土玩具の資料保存にも力を入れている。

<https://www.facebook.com/artisanAtelier66/?fref=ts>

ヒロム・モリネッティ『掌の宇宙』



筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館
福岡県筑後市大字津島 1131 TEL 0942-52-6435
<http://www.kyushu-geibun.jp>

- [JR] 九州新幹線「筑後船小屋駅」(博多駅から約25分) 下車、徒歩約1分
JR鹿児島本線「筑後船小屋駅」(博多駅から快速で約50分) 下車、徒歩約1分
- [バス] 西鉄バス50番 (久留米・船小屋)「筑後船小屋駅前」下車、徒歩約1分
- [車] 九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」より約15分
駐車場: 103台 (2時間まで無料/以降1時間100円)



古賀義浩『Water and where there is Water』2016年
ホントアートセンターでの展示風景 (釜山・韓国)

古賀義浩 Koga Yoshihiro

1986年福岡県久留米市生/久留米市在住。美術家。2009年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。自然の循環をテーマに制作を続ける。手がける作品のほとんどは、雲や水のように变幻自在であり、発表される環境によって変化する。近年の主な個展は、2016年『Water and where there is Water』(ホントアートセンター/釜山・韓国) など。また、2014年『ネガティブ・アフター・イメージ』(アキバタマビ21, アーツ千代田3331/東京)、2016年『行雲流水 青木野枝+古賀義浩』(Operation Table/福岡) などグループ展多数。長野や香川、パリなどの国内外で滞在制作も行う。
<http://www.yoshihiro-koga.com>



浦川大志『KEMURI』2016年 © Annont Nongyao

浦川大志 Uraikawa Taishi

1994年福岡県宗像市生/宗像市在住。美術家。九州産業大学芸術学部美術学科に在籍。2013年、高校卒業後に初個展『ヒトリ卒業制作展』(IAF SHOP*/福岡) を開催。以来福岡を拠点に活動。自らを取り巻く環境の不確かさを抽象的に表現した絵画や流動的なインスタレーションなどを制作。近年では、『黄金町バザール2015』(神奈川)、『Capture-2展』(東京) など、県外のアートイベント、グループ展にも参加している。第24回英展、優秀賞受賞。
<https://twitter.com/HANIWATaisi>

